

平成26年度第4回南相馬市事務事業事前評価結果

No.	2	事務事業名	鹿島区不採算地区公的病院等運営費補助金	担当課	鹿島区地域振興課
-----	---	-------	---------------------	-----	----------

事業の目的	対象	誰に、何に対して働きかけるのか ・鹿島区の地域振興の重要な基盤であり、地域医療を担っている公的病院（鹿島厚生病院）
	意図	対象がどのようになることがねらいなのか ・鹿島厚生病院を、健全な経営状態（収支が均衡する状態）にする。
	結果	どのような結果をもたらすのか ・鹿島区の地域振興の重要な基盤、地域医療を確保（維持・継続）できる。
	結果	

手 段	・鹿島区唯一の病院として鹿島区の地域医療の中核を担っている鹿島厚生病院に対し、その運営費を助成する。	事業費（千円）	平成26年度	17,099
		平成27年度	42,313	
		平成28年度	67,360	
		平成29年度	67,360	
		平成30年度	67,360	
		合計	261,492	

担当課による自己評価	必要性	市民ニーズはあるか ・平成25年8月に実施した「市民意識調査」において、生活の不安・心配なことについては、「医療・福祉サービス（35.7%）」、日常生活の改善に必要な施策として、「通院・入院など医療サービスの充実（50.3%）」との結果が出ている。また、南相馬市で暮らすための条件として「医療環境の整備（41.1%）」、将来重要なこととして「医療・福祉サービスが整ったまち（62.2%）」、特に力を入れるべき分野として「医療・健康・福祉（54.8%）」という結果が出ている。以上から、ニーズの把握方法が適切であり、市民ニーズがあると認められる。
	行政関与	市が積極的に関与すべき事業なのか ・国は、不採算地区の地域医療を担う公的病院等に対し地方公共団体が助成を行った場合に、公立病院に準じた特別交付税措置を実施しており、国として事業の必要性を認めている。
	有効性	成果の期待度 どのような効果が期待されるか ・事業を実施することで、鹿島厚生病院を、健全な経営状態（収支が均衡する状態）とし、鹿島区の重要な社会基盤、地域医療を確保（維持・継続）できる。
	その他	優先性等 ・鹿島区の地域振興の重要な基盤であり、地域医療の中核を担う鹿島厚生病院が事業規模縮小、撤退となる事態を避けることは優先性・緊急性が高い。
	総合評価	必要性・有効性・優先性を認める。

委員会評価	総合評価	必要性・有効性・優先性を認める。
	付帯意見	なし。

対応方針	議会における予算成立後、計画に沿って事業を実施する。 （平成26年12月議会に予算計上）
------	---